

『国際会計研究学会年報』執筆要領

国際会計研究学会編集委員会
2011年11月21日決定

1. 表紙

表紙には、論題、執筆者名、所属および肩書き、論文要旨（日本語(横 30 字×縦 25 行以内)を記載します。

2. 原稿の様式

応募原稿は、MS Word による横書きで、B5 版、横 40 文字×縦 37 行とし、余白は上 25mm、下 20mm、左・右 20mm をとります。原稿は、原則として刷り上がり 15 頁前後とします。ただし、編集委員会が妥当と認めた場合には、制限頁数を超えることができます。

日本語は MS 明朝、英語は Times New Roman とします。見出し、図、表の題目は MS ゴシック（太字）とします。漢字、ひらがな、カタカナ以外の文字（例えば、数字、アルファベット）は半角にしてください。文字化けを避けるために、特殊なフォント文字は使用しないでください。フォントサイズ等は次のとおりです。

論題	14 ポイント	センタリング
執筆者名	11 ポイント	右寄せ
所属	11 ポイント	右寄せ
論文要旨	10 ポイント	左寄せ
本文	11 ポイント	左寄せ
見出し	12 ポイント	左寄せ
注（文末）	10 ポイント	左寄せ
参考文献	10 ポイント	左寄せ

3. スタイル

本文の節、項等については、以下のようになしてください。

（1 行空き）

I 見出し

（1 行空き）

本文

1. 見出し

本文

(1) 見出し

本文

注

参考文献

4. 表記

現代仮名遣い、当用漢字、新字体を使用してください。接続詞（および、ならびに、また、ただし等）についてはひらがなを、数字についてはアラビア数字を使ってください。

また、外国人名については原語により表記してください。なお、本文の句読点は、句点（。）と読点（、）とします。

5. 図表

図と表は必要最小限にとどめ、それぞれ通し番号（図1，図2，表1，表2・・・）を付すとともに、簡単な見出しをつけてください。

6. 引用および注

文献を引用するための注については、本文の該当個所に次の様式で記載してください。

[例] (Sprouse and Moonitz[1962],pp.23-24) (年号については西暦を、表記にあたっては半角文字を使用してください)。また、人名の表記において日本人については姓のみとし、頁の表記においてドイツ語文献についてはSを、和文献については頁を使用してください。なお、上記の表記法においては区別ができない場合には、人名についてはSprouse,R.T.または高須教夫のようにフルネームに、年号については年号にa,bを付してください。

説明のための注については、本文の末尾に一括して記載してください。なお、かかる注については本文の該当個所に(1),(2)のようにルビ上ツキで示してください。

7. 参考文献

研究に引用した文献（論文、著書、URL等）のリストを本文の最後に、和文献と洋文献を区別せず、著者名のアルファベット順に次の様式で記載してください。

- ・和書 著者名[出版年]『書名』出版社名。
- ・論文(和) 著者名[出版年]「論文名」『雑誌名』第○巻第○号、○-○頁。
- ・洋書 family name, personal name[出版年], 書名, 出版地(または出版社名)。
- ・論文(洋) family name, personal name[出版年], “論文名,” 雑誌名, Vol.○, No.○, pp.○-○。(ドイツ語文献等については Vol, No, pp 部分を適宜変更してください)

なお、personal name についてはR.T.のように省略してください。また、論文の頁数については当該論文のフルページを記載してください。さらに、出版年については西暦で記載してください。

著者が複数の場合、日本人については中野常男・高須教夫・山地秀俊のように、外国人については Sprouse, R.T. and M. Moonitz のように記載してください。

論文が著書の1章に該当している場合、和書については

著者名[出版年]「論文名」編著者名編[出版年]『書名』出版社名、○-○頁。

洋書については

family name, personal name[出版年], “論文名,” in family name, personal name (ed.) [出版年], 書名, 出版地(または出版社名), pp.○-○。

としてください。

訳書については、原著書を使用しない場合には和書に準じた取扱いをしてください。原著書を使用する場合には、原著書について洋書として記載した後に、括弧書きで訳書を記載してください。[例] Littleton, A.C.[1933], *Accounting Evolution to 1900*, New York (片野一郎訳[1978]『リトルトン 会計発達史(増補版)』同文館出版)。

なお、編著、訳書については、それを引用文献として実際に使用する場合を除いて[出版年]の記載は必要ありません。ただし、その場合には、編著、訳書の出版地(または出版

社名) に続いて出版年を記載してください。

8. その他

書式の統一を図るため、文章、仮名遣いなどについて、編集委員会が修正することがあります。

9. 英文要旨

論題、執筆者名、所属および肩書き、論文要旨（英語、1 頁以内）を記載します。

以上